

タック総合健診システム

V4→V5データ移行手引書

Version 5

2023年02月07日 第8版

contents

1	概要	1
1.1	データ移行の前提条件	1
	Q マスタの差分移行について	3
1.2	全移行しないデータについて	4
	Q KEY_NOテーブルのかさ上げについて	5
1.3	データ移行手順	6
	Q V4とV5が同一サーバーで動作する場合	7
2	初回データ移行	10
2.1	標準マスタのセットアップ	10
2.2	V4バックアップファイルの復元	11
2.3	初回データ移行の実行	13
2.4	移行後に確認が必要なマスタ	15
2.4.1	業務マスタ(M_GM)	15
2.4.2	メニューマスタ(M_MENU)	15
2.4.3	入力項目区分マスタ(M_ITEM_KBN)	18
2.4.4	OCRグループマスタ(M_OCR_GRP)	19
2.4.5	結果進捗区分マスタ(M_KK_PRG_KBN)	19
2.4.6	データセットマスタ(M_DATA_SET)	20
2.4.7	帳票マスタ(M_CH)	20
2.4.8	判定支援ルールマスタ(M_AJ_STEP)	21
2.5	巡回版から移行した場合の注意事項	22
2.5.1	帳票出力 結果一覧、その他一覧	22
3	最終データ移行	23
3.1	移行ツール実行前	23
3.2	最終データ移行の実行	23
3.3	ファイルパスの更新／確認	25

3.3.1	団体ファイル管理(M_DAN_FILE_KNR)	25
3.3.2	受診者ファイル管理(JS_FILE_KNR)	26
4	確認ツール	27
4.1	【V4→V5】確認ツール	27
4.2	【共通】マスタ変更内容確認ツール	28
4.3	DBチェックツール	29
4.4	データセットヒント句付加ツール	30
4.5	帳票マスタエラーチェックツール	32
4.6	キー番号チェックツール	34
	参考資料:全移行されないテーブル	36

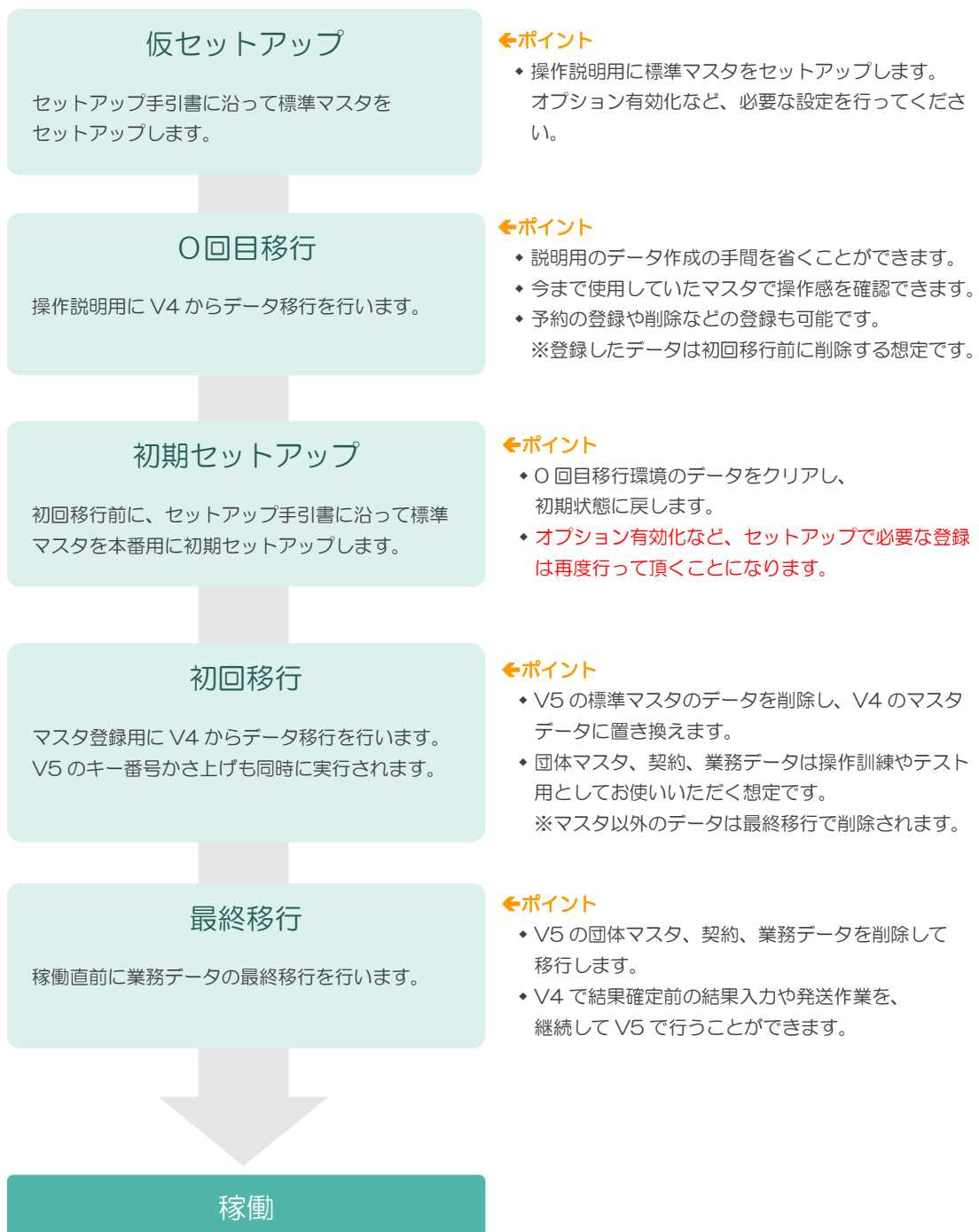
1 概要

■ 1.1 データ移行の前提条件

データ移行は操作説明用に 1 回、本移行を 2 回に分けて行うことを想定しています。

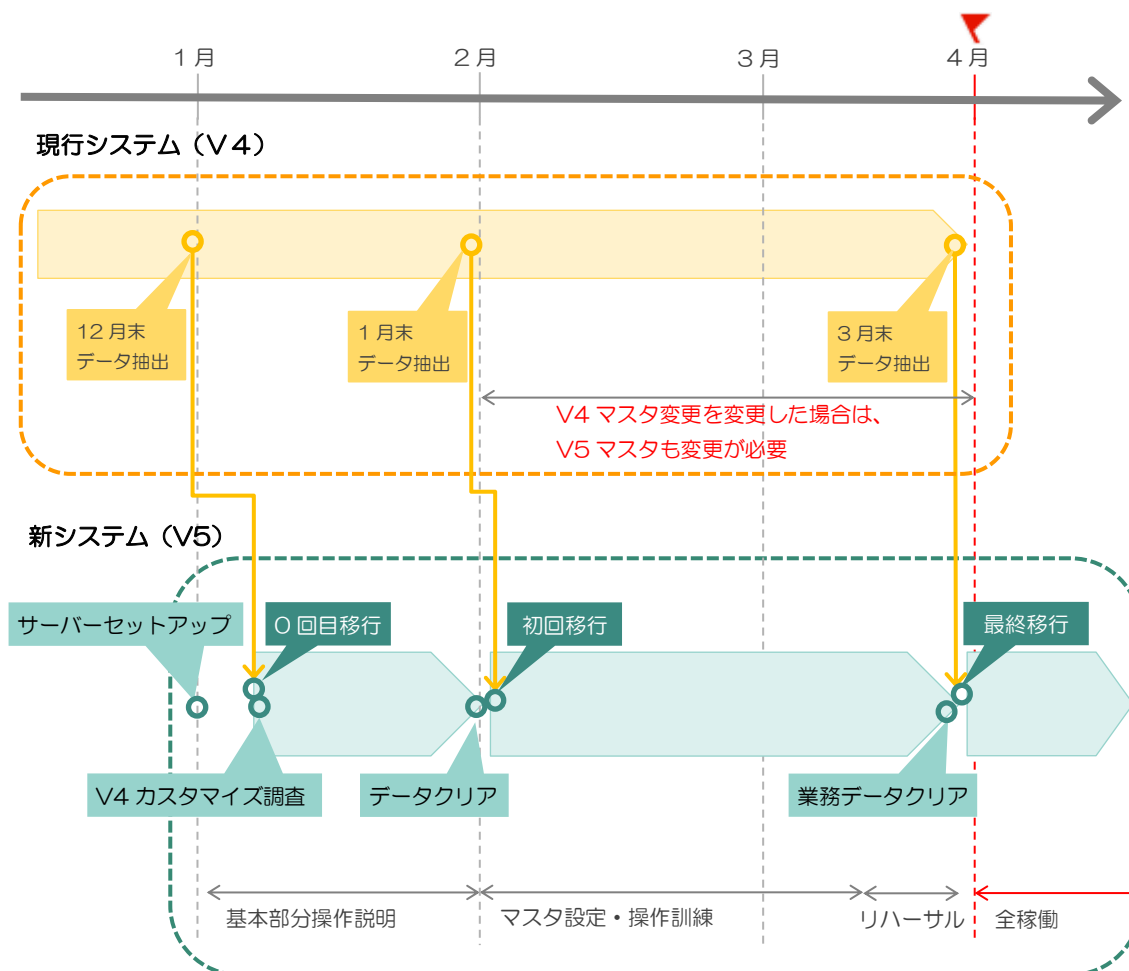
稼働日直前に最終移行を行い、V4 から V5 へ 全業務一斉切り替えを行います。

移行は V4 のデータベースバックアップファイルを V5 と同一 DB サーバーにコピーして移行します。



○移行イメージ

例) 4月稼働の場合 1月に操作説明、1月末に初回移行、3月末に最終移行を行う。



初回移行、最終移行では、おおまかに以下のデータを移行します。

<初回移行>

- マスタ : 抽出時までに登録済のマスタデータ
- 業務データ: 抽出時までに登録済の団体マスタ、受診者、契約、予約、結果、会計等
※業務データは最終移行時にクリアされます。

<最終移行>

- マスタ : 初回移行から新規で追加されたマスタデータ
- 業務データ: 抽出時までに登録済の団体マスタ、受診者、契約、予約、結果、会計等
※マスタは新規追加分のみ移行します。変更・削除は移行されません。

移行期間中にマスタデータを変更する場合は『[Qマスタの差分移行について](#)』をご参照ください。

※マスタ以外のV5で登録した業務データは削除され、V4の情報で上書きされます。

稼働日以降の予約・案内発送でも最終移行まではV4で行ってください。

○稼働切り替えイメージ

例) 休日（土・日）を利用して一斉切り替えを行う場合

金曜	業務後	現行システムの利用停止 旧端末の撤去および新端末の設定 ファイルのコピー（検査画像、OCR画像他）
▼		
土曜	午前	金曜業務後のバックアップを利用し、データ移行、移行データ確認
	午後	新システム動作確認 ※V4・V5が同一サーバーで動作する場合は、 別途、追加の切り替え作業を行う必要があります。 詳細は『 QV4とV5が同一サーバーで動作する場合 』参照
▼		
日曜	予備日	リハーサルまたはお客様確認

Q マスタの差分移行について

A 最終移行では、初回移行後に新規で作成したV4のマスタデータは、V5のマスタに存在しないため移行されますが、**マスタの変更・削除については差分移行されません**。

例) 初回移行済みの入力項目マスタの名称等を変更する。
 初回移行済みの検査マスタへ、入力項目マスタを追加する。
 初回移行済みの検査マスタから、入力項目マスタを削除する。

初回移行～最終移行の間に、マスタデータを変更する場合は以下に注意してください。

○移行期間中にマスタ項目を追加したい場合

V4 と V5 双方で、追加する項目のキー番号を同じにする必要があります。
 V4 または V5 で項目を作成し、同じキー番号になるよう手動で移行を行ってください。
 ※V4 のみ追加する場合は、最終移行後に V5 から項目を削除してください。
 ※V5 のみ追加する場合は、特に制約はありません。

○移行期間中にマスタ項目を修正したい場合

V4 と V5 双方で手動での項目修正が必要です。

○移行期間中にマスタ項目を削除したい場合

V4 と V5 双方で手動での項目削除が必要です。
 ※V5 のみ削除する場合は、最終移行後に V5 から項目を削除してください。

1.2 全移行しないデータについて

基本的には V5 の標準マスタのデータを削除し、V4 の移行データに置き換える想定ですが、一部全移行されないデータがあります。以下の表をご確認のうえ、必要に応じて調整をお願いいたします。

○移行されないデータ

一括受診者取込データ	受診者登録完了後は不要なデータのため移行しません。 処理途中のデータが存在する場合は、受診者登録完了後に移行を行ってください。 または移行後に元のExcelファイルから再度取込を行ってください。
予約オーダー	V4→V5移行ツールでは移行しません。 カルテ連携におけるオーダーの移行については、連携するシステム毎に移行手順が異なります。各電子カルテ連携の設定手引書をご確認ください。
コミュニケーションツール	基本は移行しません。 移行要望がある場合は、別途移行作業が必要です。 『コミュニケーションツールV4→V5移行手引書』をご参照ください。
システム設定	V5のシステム設定を採用するため、移行しません。 必要に応じて個別で移行をお願いいたします。 ユーザー個別で追加されたシステム設定や、V4のシステム設定と変更があった設定値の確認は、『4.1【V4→V5】確認ツール』をご参照ください。
スプレッド設定	表示項目が変更になったため、移行しません。 現在のユーザー設定がリセットされますので、お客様に再設定を依頼してください。
UI_コントロールやメッセージ等のシステム設定関連	画面構成が変更になったため、移行しません。 ユーザー固有で設定をしている場合は、個別で移行、再設定をお願いいたします。
更新履歴保存用テーブル	V4の更新履歴は移行しません。
ユーザー固有のカスタマイズテーブルやDB関数など	個別で移行をお願いいたします。 移行対象の確認は、『4.1【V4→V5】確認ツール』をご参照ください。

○一部移行するデータ

*** 移行後に確認が必要なマスタです。**

業務マスタ*	ユーザーで追加されたマスタのみ移行します。 釣銭機連携等の標準マスタを変更したデータについては移行されません。 変更された業務マスタは『4.1【V4→V5】確認ツール』で抽出できますので、個別で移行をお願いいたします。
アプリケーションマスタ*	ユーザーで追加されたマスタのみ移行します。 標準マスタを変更したデータについては移行されませんので、個別で移行をお願いいたします。 ※MYメニューは移行します。 ※V5で削除された業務はメニューから削除します。

帳票マスタ*	契約内容確認書以外は全移行されます。(標準マスタは上書きします) 契約内容確認書は機能変更のためV5を採用しています。
データセットマスタ*	ユーザー固有で作成したデータのみ移行します。 V4の標準マスタを変更したデータについては移行されません。 ユーザー個別オブジェクトの移行漏れやテーブル構造の変更に伴う データセットエラーについては『 4.3DBチェックツール 』をご参照ください。
画面マスタ	V4の面談指導、結果グラフについては、廃止となったため移行しません。
OCR	OCR画像は結果にコピーされており不要なデータのため、 システム日付(移行実行日)より前年度、今年度のデータのみ移行します。 ※過去2年分のOCRファイルも移行先フォルダへコピーする必要があります。

テーブル名は巻末の『[参考資料：全移行されないテーブル](#)』をご参照ください。

- 移行するとV5の標準帳票はV4の標準帳票へ差し変わり、
V4で使用していた帳票を、継続して利用することができます。

〇一部リカバリするデータ

予約(所属団体) ※施設内版のみ	V4の施設内版では、予約データに所属団体の情報を保持していないため、本ツール 実行日から過去1年以内の予約データに対し、受診者の所属団体で上書きするよう 移行します。 ※予約データに所属団体が登録されていない状態で、受付後に予約変更を行うと、 「受付後に所属団体に変更されています」といったメッセージが表示されます。 (過去1年以上前のデータはメッセージが表示されます。)
---------------------	---

Q KEY_NOテーブルのかさ上げについて

A V4→V5移行では、KEY_NOテーブルも移行の対象となります。
最終移行で差分移行はしませんが、もしもの時のためにデータ発生源を明確にできるよう、
移行ツールでは、[病院導入用のキー番号\(300,001\)](#)へのかさ上げも同時に実行します。

大規模ユーザー、独自番号帯運用があるユーザーは、V4とV5由来のデータが切り分けられるように、
あらかじめチューニング方法をレビューし、かさ上げ番号を定義してください。

- 社内開発用(推奨) : 100,001 ~
- 病院導入用(推奨) : 300,001 ~
- トランザクション : V4から継続

- 最大桁数が5桁の場合は以下の番号を参考に定義してください。
社内開発用(推奨): 10,001台のMAX+1,000
病院導入用(推奨): 30,001台のMAX+1,000

1.3 データ移行手順

操作説明用のデータ移行（0 回目）、初回データ移行、最終データ移行は以下の手順を想定しております。
手引書では以下の手順に沿ってご説明いたします。

○初回データ移行 ※0 回目も同様です

- | |
|--|
| ☐ 標準マスタのセットアップ
※標準マスタへ復元した後は、再度オプション有効化の設定が必要です。 |
| ☐ 最新の V4 バックアップファイルが存在するかを確認
※存在しない場合、V4 バックアップファイルを作成します。 |
| ☐ V4 バックアップファイルの復元 |
| ☐ 初回データ移行の実行 |
| ☐ 『【V4→V5】確認ツール』で移行内容を確認 |
| ☐ 健診システム（Ver.5）からキー番号のかさ上げ値に問題がないか確認 |
| ☐ 一部マスタの確認・ユーザー個別カスタマイズ分の移行 |

○最終データ移行

- | |
|---|
| ☐ 『【共通】マスタ変更内容確認ツール』で V4 のマスタが変更されていないか確認
※変更されている場合は、V5 での対応の有無を健診機関様へご確認ください。 |
| ☐ 最新の V4 バックアップファイルが存在するかを確認
※存在しない場合、V4 バックアップファイルを作成します。 |
| ☐ V4 バックアップファイルの復元 |
| ☐ 最終データ移行の実行 |
| ☐ 『【V4→V5】確認ツール』で移行件数を確認 |
| ☐ ファイル管理のパス更新 |
| ☐ 健診システム（Ver.5）からキー番号のかさ上げ値に問題がないか確認 |

Q V4とV5が同一サーバーで動作する場合

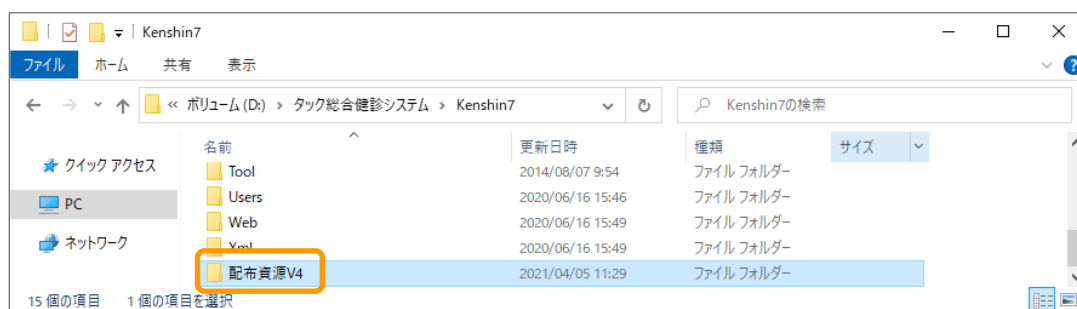
A V4とV5が同一サーバーで動作する場合、以下について対策する必要があります。

- ① 配布資源フォルダの競合
- ② Webサイト名の競合
- ③ 稼働切り替え後のV4スタートアップ、タスクスケジューラの起動について

- ① V4 環境の資源を V5 の配布資源フォルダから最新化しないよう、V4 の配布資源の設定を変更します。

新サーバーにある V4 の配布資源フォルダ 名称を変更してください。

変更箇所：「D:\¥タック総合健診システム¥Kenshin7」の「配布資源」→「**配布資源 V4**」



フォルダの名称変更後、配布資源のダウンロードに使用する設定も変更します。

以下の XML ファイルをメモ帳などで開き、設定を変更してください。

「D:\¥タック総合健診システム¥Kenshin7¥配布資源 V4¥Xml¥SystemSettings.xml」

変更箇所：

<SystemSettings/SystemInfo/UpdateFolders>内の「False」→「**True**」

<SystemSettings/SystemFolders/FolderPath>内の「配布資源」→「**配布資源 V4**」



続いて、V5 環境作成前に上書き防止用の資源に入れ替えます。

健診システム (Ver.4) のバージョンを確認し、以下のフォルダにある資源を

「D:\タック総合健診システム\Kenshin7\配布資源 V4\Bin」に適用してください。

○健診システム (Ver.4) が V1.09 以前の場合

D:\タック総合健診システム V5\導入ツール\■移行ツール V4→V5\Tools

※同一サーバーの場合\Kenshin7_V1.09 以前\Bin

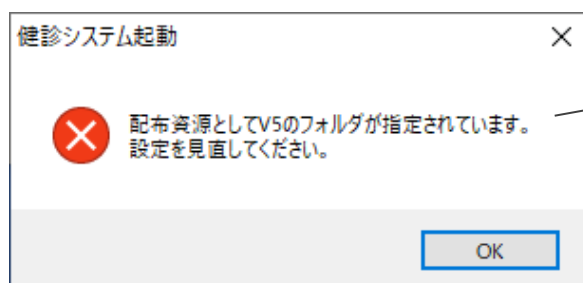
- KenSystem.exe
- KenUpdate.exe

○健診システム (Ver.4) が V1.10 以降の場合

D:\タック総合健診システム V5\導入ツール\■移行ツール V4→V5\Tools

※同一サーバーの場合\Kenshin7_V1.10 以降\Bin

- KenSystem.exe
- KenUpdate.exe

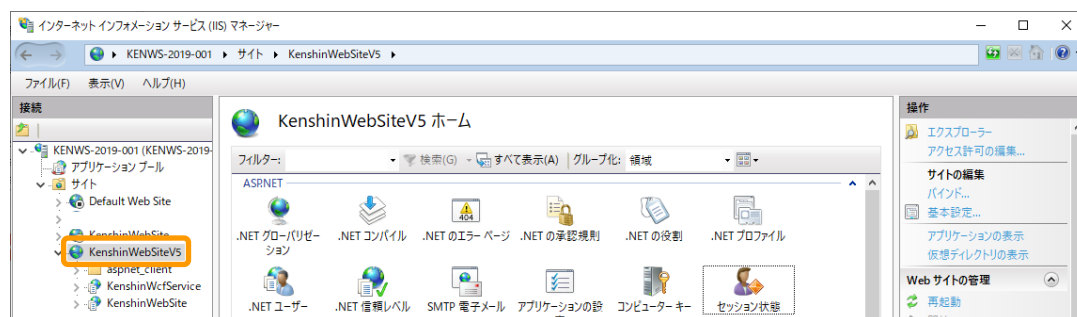


健診システム (ver.4) 起動時に、V5 の配布資源フォルダが指定されていると、エラーメッセージが表示されます。

- ② V4 と V5 の Web 機能は並行稼働しない想定です。
V5 環境作成時は、仮設定として Web サイトの名称を変更して作成してください。

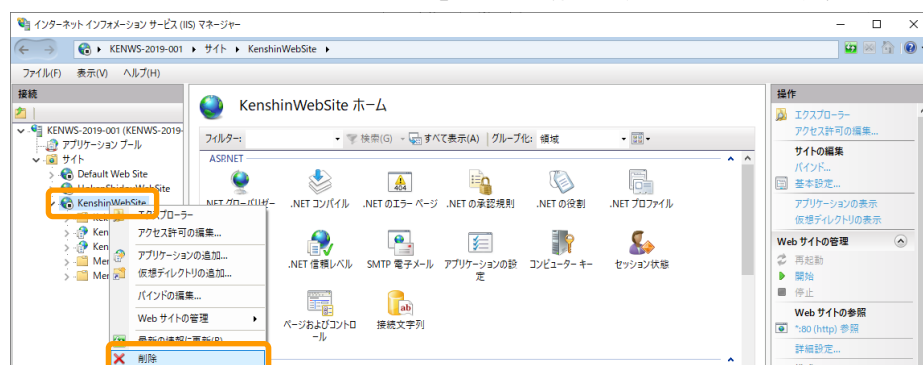
推奨 Web サイト名：「KenshinWebSiteV5」

※ その他はセットアップ手引書に沿って設定してください。



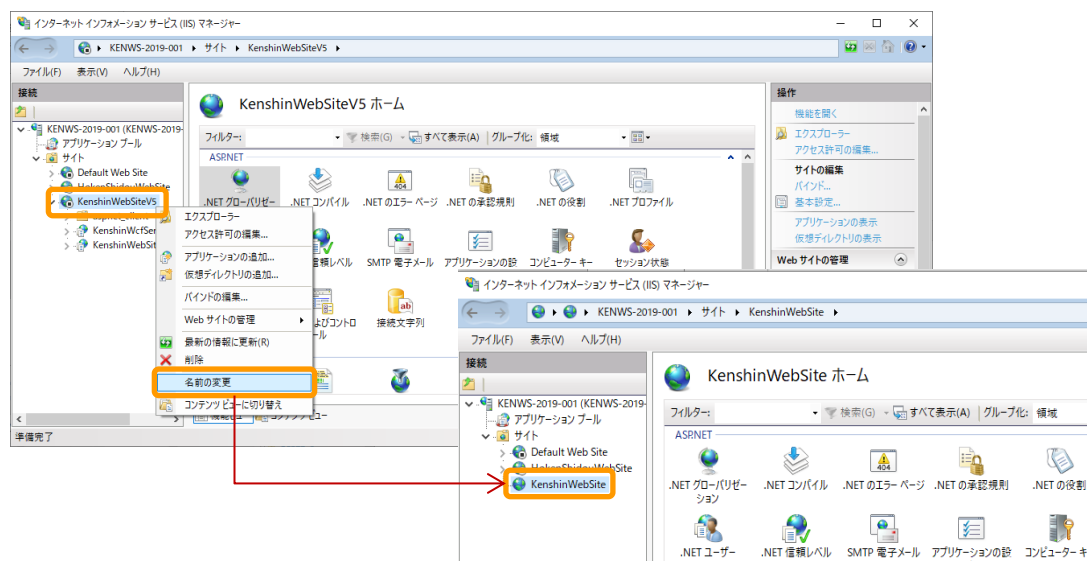
稼働切り替え時に、Web 設定を入れ替えます。

V4 の Web サイト「KenshinWebSite」の IIS を停止し、Web サイトを削除してください。

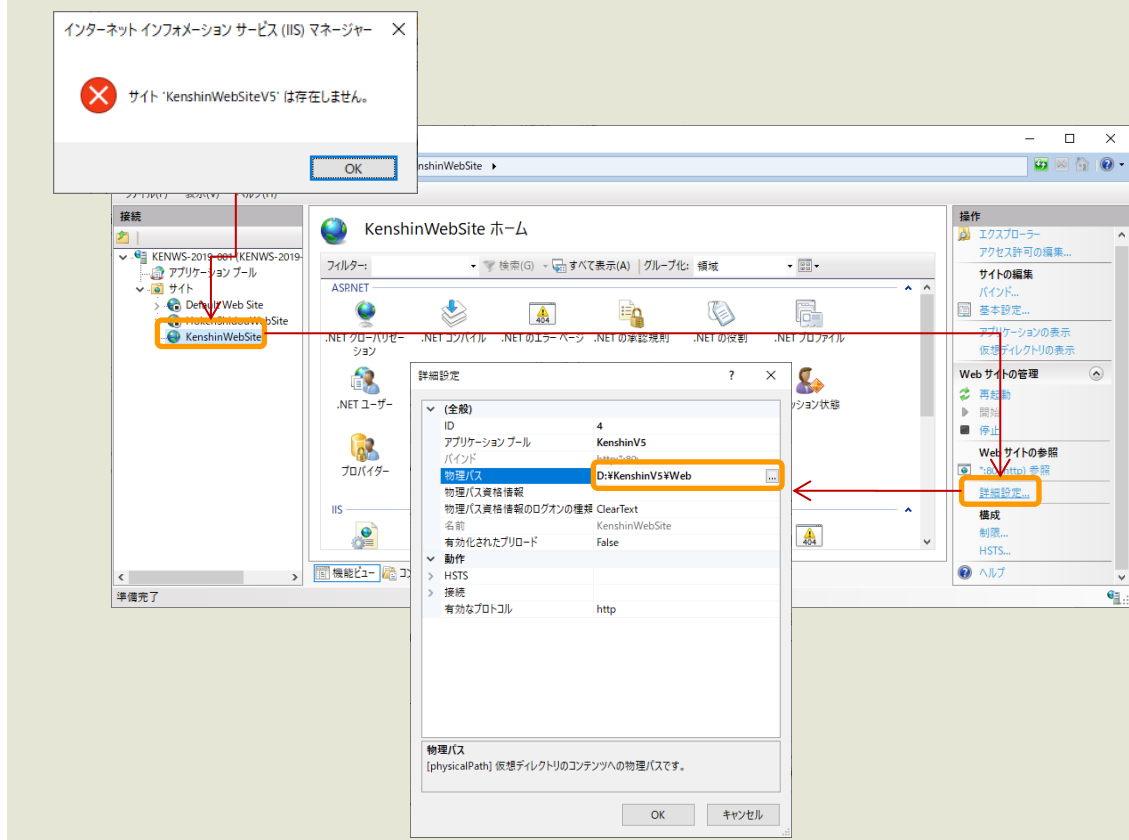


続いて、

V5 の Web サイト名を「KenshinWebSiteV5」→「KenshinWebSite」へ変更してください。



- 「サイト 'KenshinWebSiteV5' は存在しません。」とエラーが発生した場合は、「KenshinWebSite」-「詳細設定」を選択し、「物理パス」を再指定してください。



- ③ 他システム連携を採用している場合、稼働切り替え後のサーバー再起動で V4 の連携アプリが起動しないよう、V4 の連携アプリをスタートアップから削除する必要があります。
また、V4 のタスクスケジューラを組んでいる場合は、同じく削除する必要があります。

2 初回データ移行

『V4→V5 移行ツール』は V4 の製品バージョンを問わずお使い頂けます。
また以下の前提条件、運用を想定していますので、条件を満たしていることをご確認ください。

《前提条件》

- ・ 健診サーバーのセットアップが完了していること。
- ・ クライアントセットアップ（1 台以上）が完了し、健診システム（Ver.5）が使用できる状態であること。

《運用想定》

- ・ 健診機関様の DB サーバーで移行を実施すること。
- ・ 前日の健診システム（Ver.4）のデータベースバックアップファイルより移行を行うこと。
- ・ V4 バックアップファイルのコピーのため、同一ネットワークに接続していること。
※業務時間中のネットワーク利用時は、必ず顧客担当者との運用確認を行い、承認を得て進めること。

2.1 標準マスタのセットアップ

操作説明時の操作ログや、マスタの変更履歴を削除するため、標準マスタを再度セットアップします。

- 0回目移行で設定したオプション有効化や各種設定は削除されますので、再度設定が必要となります。

1. 標準マスタの復元を行います。

「D:\タック総合健診システムV5\Setup\03_標準マスタセットアップ.bat」を実行してください。

※ 詳細は『セットアップ手引書 V5_Server 版』の『4.1 標準マスタのセットアップ』をご参照ください。

2. PKGオプションのセットアップを行います。

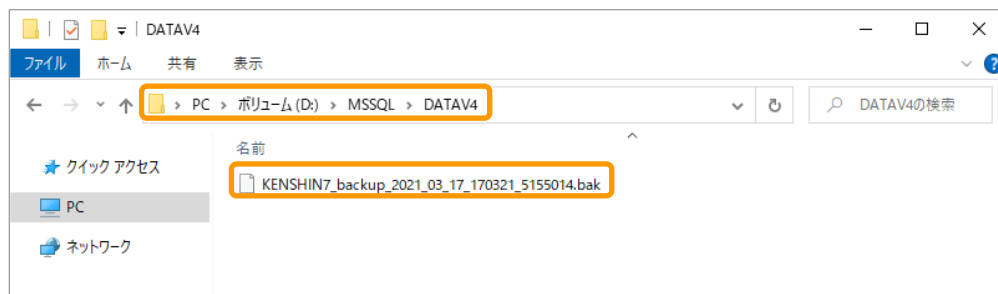
サーバーで「D:\タック総合健診システムV5\Setup\PKGオプション\1_オプション有効化\オプション有効化ツール.exe」を実行してください。

※ 詳細は『セットアップ手引書 V5_Server 版』の『6.1 PKG オプションの有効化』をご参照ください。

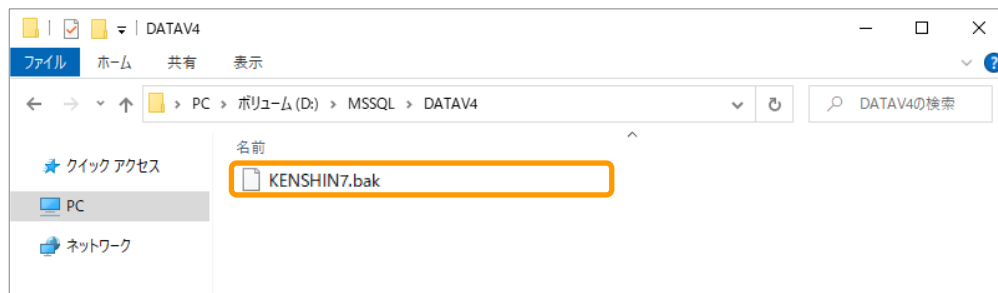
2.2 V4バックアップファイルの復元

- 復元前に、**バックアップファイルが最新であることを確認**してください。
- V4バックアップファイルの復元はV5のDBサーバーで実行してください。
- V4とV5が同一環境の時は現在の本番環境から移行するため、バックアップファイルの復元は不要です。
V4とV5が同一DBサーバーで動作し、かつV4本番環境のデータベースが「KENSIN7」の場合は、
『[2.3初回データ移行の実行](#)』へ進んでください。

1. フォルダ「D:¥MSSQL¥DATAV4」フォルダを作成します。
2. 前日の健診システム(Ver.4)のデータベースバックアップファイルをV5のDBサーバーへコピーします。
「D:¥MSSQL¥DATAV4」フォルダへバックアップファイルをコピーしてください。



3. バックアップファイルの名前を「KENSIN7.bak」に変更してください。

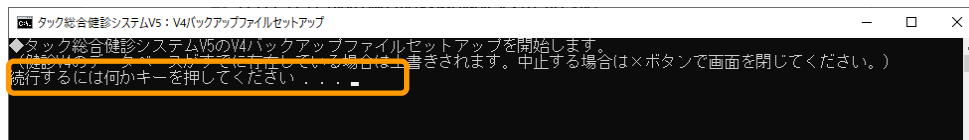


4. 「D:¥タック総合健診システムV5¥導入ツール¥■移行ツール¥V4→V5¥Tools¥V4¥バックアップ復元¥V4¥バックアップセットアップ.bat」を実行してください。

- 「KENSIN7」のデータベースがすでに存在している場合は上書きされます。

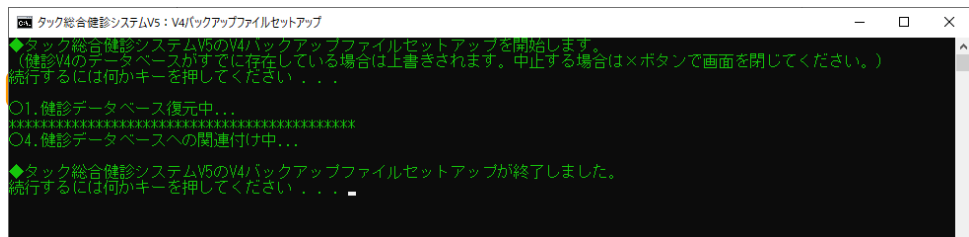
5. 任意のキーを押下してください。

※ 「D:\¥MSSQL¥DATA¥V4¥KENSHIN7.bak」 ファイルがない場合は処理が終了します。



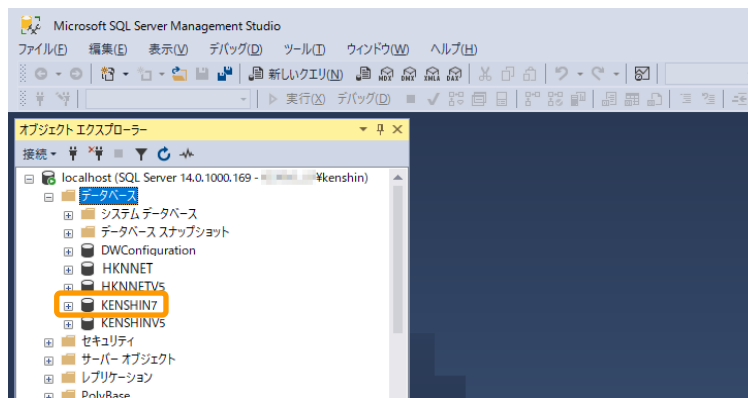
6. セットアップが完了すると、コマンドプロンプトの文字が緑色に変わります。

任意のキーを押下して画面を閉じてください。



7. データベースが復元されたことを確認します。

SQL Server Management Studioを起動してWindows認証でログインし、データベース内に「KENSHIN7」が追加されたことを確認してください。



2.3 初回データ移行の実行

移行ツールで、V4→V5 の初回データ移行とキー番号のかさ上げを行います。

- 複数台構成の場合は、V5のDBサーバーで実行してください。
- データ移行の参考時間: 受診歴 約80,000件 47分

1. サーバーで以下のBATファイルを実行してください。

○施設内版の場合

D:\¥タック総合健診システム V5¥導入ツール¥■移行ツール¥V4→V5¥■施設内版移行
¥☆初回データ移行.bat

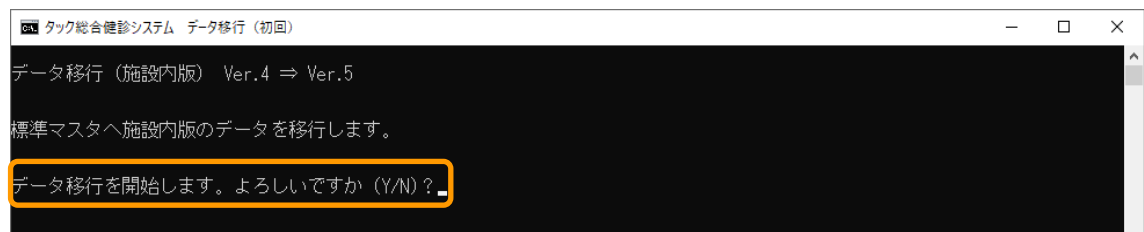
○巡回版の場合

D:\¥タック総合健診システム V5¥導入ツール¥■移行ツール¥V4→V5 ¥■巡回版移行
¥☆初回データ移行.bat

2. 「データ移行を開始します。よろしいですか(Y/N)?」と表示されます。

「Y」を入力し、Enterキーを押下してください。

※ 「N」を入力した場合は処理が終了します。



3. 続いて「移行先のデータベース名を入力してください。」と表示されます。

データベース名が「KENSHINV5」の場合は、そのままEnterキーを押下してください。

データベース名が「KENSHINV5」以外の場合は、移行先のデータベース名を入力し、Enterキーを押下してください。



4. データ移行が開始されます。
 「完了」と表示されたらデータ移行は完了です。
 任意のキーを押下して画面を閉じてください。



5. 「【V4→V5】確認ツール」にてデータが移行されたことの確認を行ってください。

※ 詳細は『[4.1 【V4→V5】確認ツール](#)』をご参照ください。

- 移行後に健診システム (Ver.5) にログインすると、操作ログが挿入されるため件数確認で不一致となってしまいます。**必ずログイン前に移行件数をご確認ください。**
- 移行ツールはデータ移行の途中でエラーが出た場合も、「完了」と表示されます。
 実際の確認は、「【V4→V5】確認ツール」で件数確認を行ってください。
 件数に差異がある場合は、データ移行のログファイルをご確認ください。
 ログファイルは、BATを実行したフォルダの配下の「DTTM」フォルダ内に出力されます。

6. キー番号チェックツールでかさ上げ値に問題がないか確認を行ってください。

※ キー番号チェックについては『[4.6 キー番号チェックツール](#)』をご参照ください。

7. 移行後にマスタ内容を確認します。

『[2.4 移行後に確認が必要なマスタ](#)』を参照し、マスタの確認を行ってください。

2.4 移行後に確認が必要なマスタ

一部のマスタ、ユーザー個別のカスタマイズ分は移行後に確認、リカバリーが必要となります。

2.4.1 業務マスタ(M_GM)

釣銭機連携や受診者登録でのスキャナー連携等、標準機能をカスタマイズしていた場合、プログラムのコンバートが必要です。

変更された業務マスタは『4.1【V4→V5】確認ツール』で抽出できますので、プログラムのコンバート後に、業務マスタを修正してください。

2.4.2 メニューマスタ(M_MENU)

以下のメニューについて個別の対応が必要です。

○保健指導オプションを利用している場合

保健指導システムは、健診システム(Ver.5)のメニュー内で動作するクライアントアプリケーションに変更となったため、メニューマスタに保健指導の業務を追加する必要があります。

保健指導担当者のメニューに対し、保健指導メニューの追加を行ってください。

The screenshot displays two windows from the M_MENU system. The top window, titled 'メニューマスタ' (Menu Master), shows a list of menu items on the left and a detailed view on the right. The 'メニューページ追加' (Add Menu Page) button is highlighted with a red box and an arrow. The bottom window, titled 'メニューページ編集' (Menu Page Edit), shows a table of menu items with columns for '1 列目' (Column 1), '2 列目' (Column 2), '3 列目' (Column 3), and '4 列目' (Column 4). The 'ページ名称' (Page Name) field is set to '保健指導業務' (Health Guidance Business). The 'ページ' (Page) dropdown is set to 'すべて' (All), and the '保健指導' (Health Guidance) option is highlighted in the dropdown list.

同様に、保健指導マスタ関連のメニューの追加も行ってください。

メニュー

検索文字 検索

メニューコード: JIMU1

メニュー名称: 標準メニュー【一般ユーザー用】

利用可能ユーザー: 全ユーザー

メモ: ※基本メニュー
初期セットアップユーザーはこのメニューを使用する

メニュー明細

メニューページ
2 月次・年次処理
3 その他の機能
4 メンテナンス
5 契約を作成する
6 検査に関する設定
7 予約に関する設定
8 受診者に関する設定
9 帳票の作成/修正

メニューページ追加

ページ名称: 保健指導に関する設定 上位ページ: メンテナンス

1列目	2列目	3列目	4列目
1 ユーザーマスタ		習慣マスタ	選択肢マスタ
2 指導コースマスタ	請求マスタ	行動計画マスタ	問診マスタ
3 保健指導	施設スケジュール基	健診コースマスタ	定型文マスタ
4 休日一括設定	本枠マスタ		
5 名称マスタ	運営時間マスタ	保健指導機関マスタ	
6			
7			
8			

すべて

保健指導

検索

業務分類: 保健指導

アプリケーション名称: 医療費控除領収書印刷

プログラム区分: 健診Exe

保健指導 個人向け宛名ラベル印刷 健診Exe

保健指導 指導実績管理表印刷 健診Exe

保健指導 指導者別月別実績管理表印刷 健診Exe

保健指導 団体向け宛名ラベル印刷 健診Exe

保健指導 特定保健指導 データ出力 健診Exe

保健指導 保健指導 一括金額編集 健診Exe

保健指導 協会けんぽデータ 健診Exe

保健指導 保健指導 健診結果データ入力 健診Exe

保健指導 保健指導 健診結果入力 健診Exe

保健指導 保健指導 個人会計 健診Exe

保健指導 保健指導 支援予定一覧 健診Exe

保健指導 保健指導 施設スケジュール 健診Exe

保健指導 保健指導 受付 健診Exe

保健指導 保健指導 対象者管理 健診Exe

確定

OV4 で業務進捗管理オプションを利用していなかった場合

業務進捗管理が標準機能になったため、メニューへの追加が必要です。

メニューページ編集 ユーザー: データ移行

ページ名称: よく使う業務 上位ページ:

1列目	2列目	3列目	4列目
1 予約状況	個人予約	結果入力	受付
2 予約検索	団体予約	問診入力	窓口会計
3	案内発送	結果発送	
4	受診者登録	汎用データ出力	団体会計
5			
6 団体マスタ	契約業務	オプションマスタ	検査マスタ
7		コース区分マスタ	請求パターンマスタ
8			

すべて

業務進捗

検索

業務分類: 進捗管理

アプリケーション名称: 業務進捗管理

プログラム区分: 健診Exe

マスタ 業務進捗関連マスタ 健診Exe

確定

OV5 から Web ソリューションを利用する場合

メニューマスタに Web ソリューションの業務を追加する必要があります。

対象ユーザーのメニューに対し、WEB ソリューションメニューの追加を行ってください。

The screenshot shows two windows from the 'メニューマスタ ユーザーデータ移行' (Menu Master User Data Migration) application.

Top Window: メニュー (Menu)

- メニューコード:** JIMU1
- メニュー名称:** 標準メニュー【一般ユーザー用】
- 利用可能ユーザー:** 全ユーザー
- メモ:** ※基本メニュー
初期セットアップユーザーはこのメニューを使用する
- メニュー明細:** A table with 9 items. Item 5, '契約を作成する' (Create Contract), is highlighted. A red arrow points from the 'メニューページ追加' (Add Menu Page) button to this item.

Bottom Window: メニューページ編集 (Menu Page Edit)

- ページ名称:** Webソリューション
- 上位ページ:** (Blank)
- Table:** A 4-column table (1列目 to 4列目) with 8 rows. Row 1 contains 'WEBログイン設定マスタ', 'WEB受診者ID統合', and 'WEB受診者更新情報確認'.
- 検索:** A search bar with 'WEB' entered and a '検索' (Search) button.
- 結果:** A list of search results including '業務分類', 'アプリケーション名称', and 'プログラム区分'.

2.4.3 入力項目区分マスタ(M_ITEM_KBN)

○シェーマ、画像項目、画像 URL（他システム）を使用している場合

下絵画像や保存先のファイルパス、アイコンを変更する必要があります。

1. 入力項目マスタを起動し、入力形式で「シェーマ」「画像」「画像URL(他システム)」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

2. 対象の入力項目が表示されます。

各項目を修正起動し、保存先(シェーマの場合は下絵画像)を移行先のファイルパスに変更してください。

アイコンを利用している場合は、アイコンも再設定してください。

※ ユーザー個別でアイコン画像を作成している場合は、アイコン画像の移行も必要です。

以下のフォルダに V4 で使用していたアイコンをコピーしてください。

デフォルトのアイコンフォルダ：D:\¥KenshinV5¥Icon¥Item

2.4.4 OCRグループマスタ(M_OCR_GRP)

OOOCR オプションを利用している場合

結果画像保存先のファイルパスを変更する必要があります。

1. OCRマスタを起動し、OCRグループタブを選択します。

ファイル設定タブの結果画像保存先を移行先のファイルパスに変更してください。

※ 書式定義ファイル名、結果画像一時保存先は「Kenshin7」→「KenshinV5」へ自動置換されます。
必要に応じて見直しを行ってください。

※ DDF ファイルをユーザー個別でカスタマイズしている場合は、DDF ファイルの移行も必要です。
移行後に動作確認を行ってください。

2.4.5 結果進捗区分マスタ(M_KK_PRG_KBN)

○業務進捗管理で PDF 出力状況のコピー先を利用している場合

コピー先のファイルパスを変更する必要があります。

1. 業務進捗関連マスタを起動し、業務進捗区分タブを選択します。

進捗管理区分が「PDF出力状況」の進捗区分を選択し、

コピー先を移行先のファイルパスに変更してください。

2.4.6 データセットマスタ(M_DATA_SET)

『4.3DB チェックツール』で、ユーザー個別オブジェクトの移行漏れやテーブル構造の変更に伴うデータセットのエラーをチェックします。

エラーとなった場合は、データセットの修正を行ってください。

例)「令和3年度 保険枝番追加対応」にて、保険枝番用にデータセットを修正していた場合

V5 では枝番対応のプロシージャがないため、エラーとなります。

標準マスタ(1000:健康_受診日)のデータセットを参考に、修正を行ってください。

データセットマスタ ユーザー: データ移行

データセット

検索文字: [検索]

データセット区分* ☒ 帳票 ☐ 汎用データ出力

データセットコード* 1000

データセット名称* 健康_受診日

データセット種別* ☒ 健康 ☐ その他

データ項目 バラメータ その他

SQL編集 ユーザー: データ移行

SQL コマンドテキスト

```

/*1000:健康_受診日*/
=====
-- Author <K. Nobuta>
-- Create date <2011/02/23>
-- Description <受診日毎に条件に該当する予約情報を取得します>
--
-- 修正履歴
-- 2012/09/05 M. Shinma 起算年齢と受診年齢を追加
-- 2012/09/10 M. Shinma 年齢フィールドを起算年齢から受診年齢に変更
-- 2012/10/12 M. Shinma 出力条件「実施場所」の追加対応
-- 2013/12/10 M. Shinma 保険枝番追加対応
-- 2021/01/12 M. Miwa V5新規属性・保険枝番追加対応
SELECT
/*ここから予約View*/
VCY.YY NO AS YY NO
VCY.JS NO AS JS NO
DBO.GET_CH_CHANGE_TO_DATE(VCY.J.DATE) AS J DATE
DBO.GET_CH_CHANGE_TO_DATE(VCY.J.END DATE) AS J.END DATE
VCY.BGN TIME AS BGN TIME
VCY.UK NO AS UK NO
VCY.UK DATETIME AS UK DATETIME
VCY.END DATETIME AS END DATETIME

```

SQL編集... 登録

V5 標準データセットの修正履歴 (ST~ED 間) を参考に修正を行ってください。

```

-- ST 2021/01/12(M. Miwa) V5新規属性・保険枝番追加対応
VCJ.HOKEN SUB NO AS HOKEN SUB NO
-- ED 2021/01/12(M. Miwa) V5新規属性・保険枝番追加対応
VCJ.HOKEN KIGOU NO AS HOKEN KIGOU NO
VCJ.HONNIN KBN AS HONNIN KBN
VCJ.HONNIN KBN NM AS HONNIN KBN NM
VCJ.DOUSHO KBN AS DOUSHO KBN
VCJ.DOUSHO KBN NM AS DOUSHO KBN NM
-- ST 2021/01/12(M. Miwa) V5新規属性・保険枝番追加対応
VCJ.PATIENT ID AS PATIENT ID
-- ED 2021/01/12(M. Miwa) V5新規属性・保険枝番追加対応

```

2.4.7 帳票マスタ(M_CH)

V4 の帳票を全移行しますが、テーブル構造の変更や標準帳票のデータセットは V5 を採用するため、移行後にエラーがないかツールで確認をしてください。

また、Office のバージョン違いによる印字切れも起こり得るため、使用帳票は一度印刷確認をお願いいたします。

※ 結果データ出力オプションを利用される場合は、データ出力の出力先ファイルパスの見直しをお願いいたします。

※ ツールの詳細は『4.3DB チェックツール』『4.5 帳票マスタエラーチェックツール』をご参照ください。

2.4.8 判定支援ルールマスタ(M_AJ_STEP)

V5では、同じ優先順を設定しているステップの取扱い方法について、『優先度が同じステップ（優先順に同じ値を設定）に複数該当した場合には、シーケンス番号が大きいステップ、つまり、後に実行するステップの方を優先的に採用する』ように仕様変更しております。

基本的にはV4とV5で採用される結果は変わらない想定ですが、一部のルールにおいて導出結果が変わる可能性があります。「D:¥タック総合健診システム V5¥導入ツール¥■移行ツール¥V4→V5¥Tools¥判定支援優先順チェックリスト作成ツール.xlsm」にて、導出結果が変わる可能性のあるルールを抽出できますので、**抽出結果をもとに健診機関様に優先順をご確認いただくようお願いしてください。**

※詳細は、ツール内の「使用方法」シートを参照してください。

The screenshot displays the '判定支援ルールマスタ' (Decision Support Rule Master) application. The left pane shows a list of rules with columns for 'コード' (Code), '更新項目' (Update Item), and '判定パターン' (Decision Pattern). The right pane shows the details for rule 'EX750 腫瘍マーカーコメント'. It includes fields for 'ルールコード' (Rule Code), '判定パターン' (Decision Pattern), '更新項目' (Update Item), '更新区分' (Update Category), '項目採用区分' (Item Adoption Category), and '規定値' (Fixed Value). Below these is a table with columns for '条件' (Condition), '動作' (Action), '優先順' (Priority), and '処理' (Processing). The '優先順' column is highlighted with an orange box.

- 健診機関様への確認依頼時には、「D:¥タック総合健診システム V5¥Document¥注意事項」フォルダ内の「(V4→V5)判定支援ルールの優先順に関してのお知らせとお願い.pdf」をご活用いただけます。

2.5 巡回版から移行した場合の注意事項

V4 では、施設内版と巡回版で仕様差異のある機能がありました。V5 は施設内版の仕様を基本としています。必要に応じて互換機能の ON/OFF を調整してください。可能な限り V5 の基本仕様で運用頂くと、稼働後の保守等で考慮すべき観点を減らすことが可能です。

2.5.1 帳票出力 結果一覧、その他一覧

「結果一覧」、「その他一覧」は帳票マスタで設定する機能で、印刷する結果値のデータを取得する機能です。機能の詳細については「マスタ設定手引書 V5.pdf」を参照ください。

V4 の施設内版では、出力対象となっている項目はすべて印字対象となります。（以下、施設内版仕様）
V4 の巡回版では、出力対象となっている項目で、かつ受診している項目が印字対象となります。（以下、巡回版仕様）

V4 の巡回版で運用していた結果表を、施設内版仕様で出力すると、以下のような弊害が発生します。

- ・ その他欄に、受診していない項目が出力されてしまう
※結果項目に複数項目をぶら下げる方法であれば、出力結果に差異はありません

巡回版仕様では標準帳票である「判定一覧」のような列が可変となっている帳票が正しく出力できない場合があります。既存の運用で問題となっていないはずですので、こちらは帳票開発や保守の時の Tips としてご認識ください。

施設内版仕様から、巡回版仕様に切り替えるにはシステム設定「IsChOutputSpecV4J」を変更してください。

この設定はデータベース全体に有効で、施設やユーザー単位で切り替えはできません。

また、最上位権限の設定としており、GUI からの変更ができません。

「■移行ツール¥V4→V5¥Tools¥帳票出力-巡回版互換システム設定切替クエリ.sql」を SQL Server Management Studio で手動実行し、TRUE/FALSE を変更してください。（初期値：FALSE）

3 最終データ移行

稼働直前に業務データの移行を行います。

3.1 移行ツール実行前

1. V4のマスタが変更されていないかチェックを行います。
「【共通】マスタ変更内容確認ツール」にてマスタに変更がないか確認を行ってください。
変更がある場合は、V5での対応の有無を健診機関様へご確認ください。
※ 詳細は『[4.2【共通】マスタ変更内容確認ツール](#)』をご参照ください。
2. 前日の健診システム(Ver.4)のデータベースバックアップファイルの復元を行ってください。
※ 手順は『[2.2V4 バックアップファイルの復元](#)』をご参照ください。

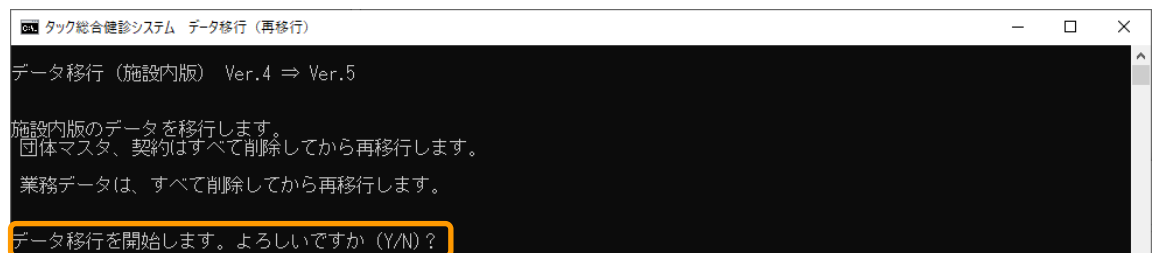
3.2 最終データ移行の実行

移行ツールで V5 の団体マスタ、契約、業務データを削除し、V4 から再移行します。

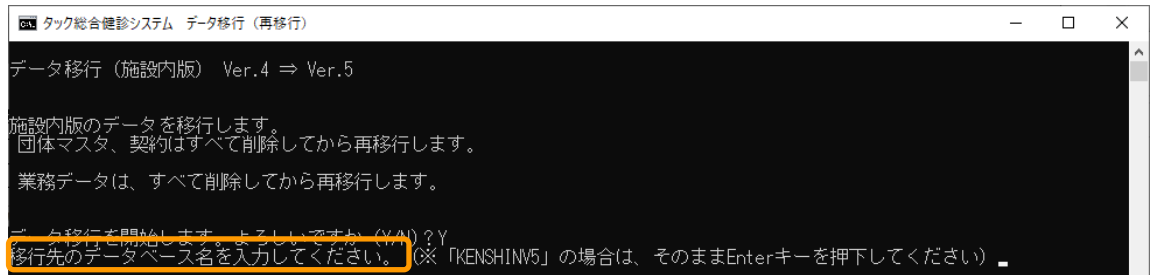
- 複数台構成の場合は、V5のDBサーバーで実行してください。

1. サーバーで以下のBATファイルを実行してください。
○施設内版の場合
D:\タック総合健診システム V5\導入ツール\■移行ツール\¥V4→V5¥■施設内版移行
¥★データ再移行.bat

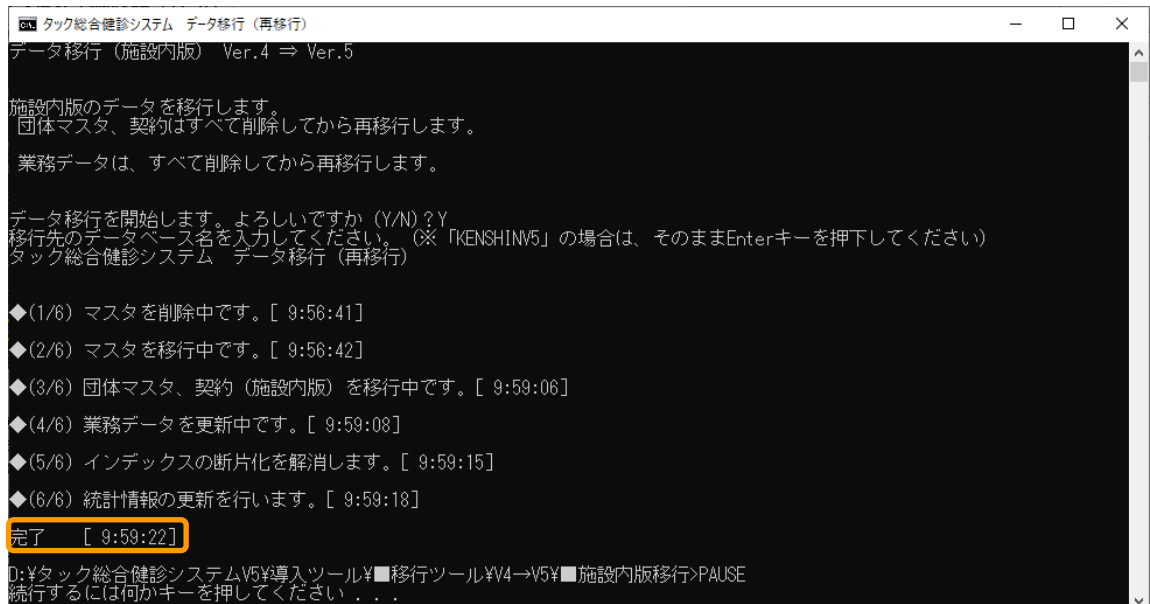
○巡回版の場合
D:\タック総合健診システム V5\導入ツール\■移行ツール\¥V4→V5 ¥■巡回版移行
¥★データ再移行.bat
2. 「データ移行を開始します。よろしいですか(Y/N)?」と表示されます。
「Y」を入力し、Enterキーを押下してください。
※ 「N」を入力した場合は処理が終了します。



3. 続いて「移行先のデータベース名を入力してください。」と表示されます。
データベース名が「KENSHINV5」の場合は、そのままEnterキーを押下してください。
データベース名が「KENSHINV5」以外の場合は、移行先のデータベース名を入力し、Enterキーを押下してください。



4. データ移行が開始されます。
「完了」と表示されたらデータ移行は完了です。
任意のキーを押下して画面を閉じてください。



5. 移行件数の確認を行います。
「【V4→V5】確認ツール」にて移行の確認を行ってください。
※ 詳細は『[4.1【V4→V5】確認ツール](#)』をご参照ください。

- 移行後に健診システム (Ver.5) にログインすると、操作ログが挿入されるため件数確認で不一致となってしまう。必ずログイン前に移行件数をご確認ください。
- 移行ツールはデータ移行の途中でエラーが出た場合も、「完了」と表示されます。
実際の確認は、「【V4→V5】確認ツール」で件数確認を行ってください。
件数に差異がある場合は、データ移行のログファイルをご確認ください。
ログファイルは、BATを実行したフォルダの配下の「DTTM」フォルダ内に出力されます。

6. 団体、受診者のファイル管理パスの更新と、キー番号のかさ上げ値に問題がないか確認を行ってください。
※ キー番号チェックについては『[4.6 キー番号チェックツール](#)』をご参照ください。
ファイルパスの確認は次頁をご参照ください。

3.3 ファイルパスの更新／確認

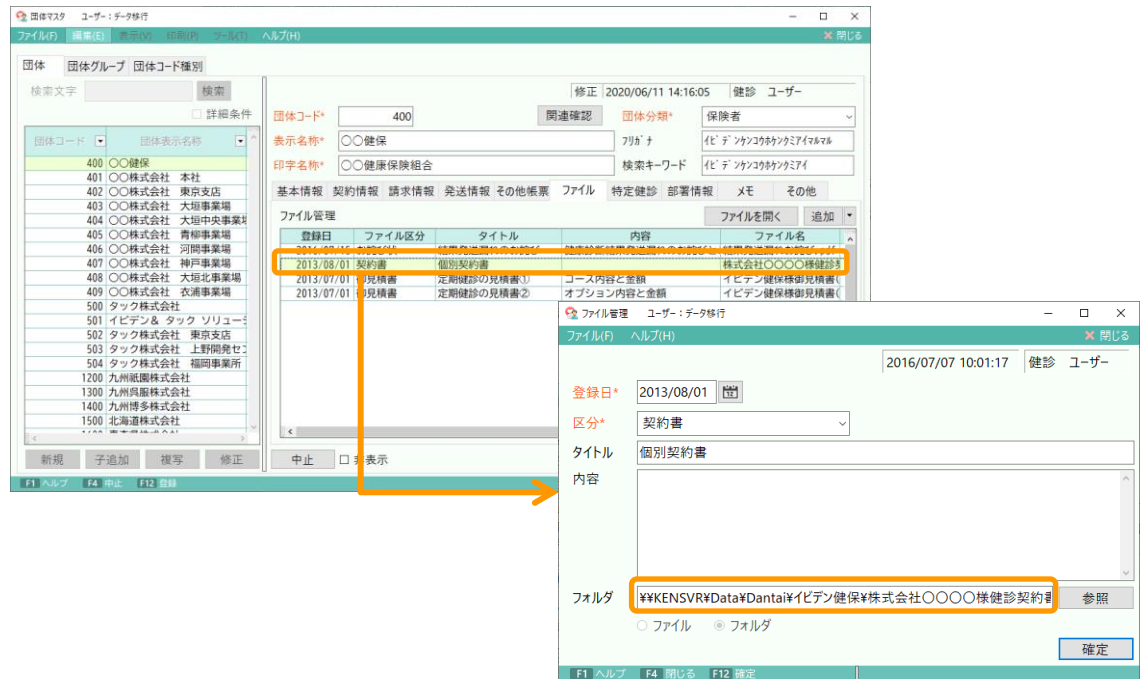
ファイル管理を使用している場合、フォルダのファイルパスを移行先フォルダへ変更する必要があります。

3.3.1 団体ファイル管理(M_DAN_FILE_KNR)

○団体のファイル管理が存在している場合

フォルダのファイルパスを変更する必要があります。

件数が多い場合は SQL で一括置換を行ってください。



《サンプル SQL》サーバー名のみファイルパスを変更する場合

DB 名: KENSINV5

移動元: %%KENSVR%DATA%Dantai%〇〇健保%〇〇〇〇

移動先: %%KenshinV5Svr%DATA%Dantai%〇〇健保%〇〇〇〇

```
BEGIN TRANSACTION
```

```
GO
```

```
DECLARE @cnt DECIMAL(3,0)
```

```
-- 置換対象が存在するか
```

```
SET @cnt = (SELECT TOP (1) 1 FROM KENSINV5.dbo.M_DAN_FILE_KNR WHERE FILE_FULL_PATH LIKE '%%KENSVR%')
```

```
IF @cnt = 1
```

```
BEGIN
```

```
UPDATE KENSINV5.dbo.M_DAN_FILE_KNR
```

```
SET FILE_FULL_PATH = REPLACE(FILE_FULL_PATH, '%%KENSVR%', '%%KenshinV5Svr%')
```

```
WHERE FILE_FULL_PATH LIKE '%%KENSVR%'
```

```
END
```

```
ELSE
```

```
PRINT '置換対象のファイル名が存在しませんでした'
```

```
GO
```

```
-- 問題がなければコミット、問題があればロールバックしてください
```

```
-- COMMIT
```

```
-- ROLLBACK
```

3.3.2 受診者ファイル管理(JS_FILE_KNR)

○受診者のファイル管理が存在している場合

フォルダのファイルパスを変更する必要があります。

件数が多い場合は SQL で一括置換を行ってください。

The screenshot shows the 'JS_FILE_KNR' application interface. The main window displays patient information and a list of files. An orange arrow points from a file entry in the list to a detailed file management dialog box. The dialog box shows fields for registration date, district, title, content, folder path, and history.

《サンプル SQL》サーバー名のみファイルパスを変更する場合

DB 名: KENSHINV5

移動元: `¥¥KENSVR¥DATA¥Jushinsha¥...`

移動先: `¥¥KenshinV5Svr¥DATA¥Jushinsha¥...`

BEGIN TRANSACTION

GO

DECLARE @cnt DECIMAL(3,0)

-- 置換対象が存在するか

SET @cnt = (SELECT TOP (1) 1 FROM KENSHINV5.dbo.JS_FILE_KNR WHERE FILE_FULL_PATH LIKE '¥¥KENSVR%')

IF @cnt = 1

BEGIN

UPDATE KENSHINV5.dbo.JS_FILE_KNR

SET FILE_FULL_PATH = REPLACE(FILE_FULL_PATH, '¥¥KENSVR', '¥¥KenshinV5Svr')

WHERE FILE_FULL_PATH LIKE '¥¥KENSVR%'

END

ELSE

PRINT '置換対象のファイル名が存在しませんでした'

GO

-- 問題がなければコミット、問題があればロールバックしてください

-- COMMIT

-- ROLLBACK

4 確認ツール

移行前後にデータの確認を行うツールをご紹介します。

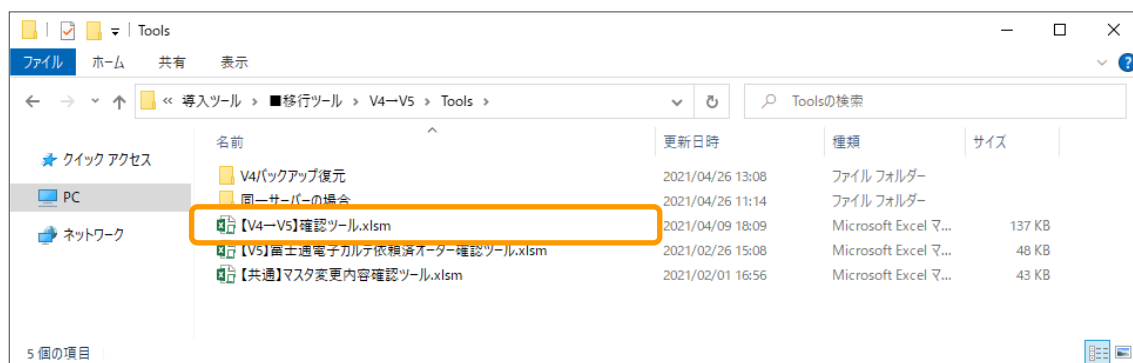
4.1 【V4→V5】確認ツール

移行後に使用するツールです。

ユーザー個別のオブジェクトの確認や、追加修正されているシステム設定、標準帳票、データセット、移行後の件数比較を行うことが出来ます。

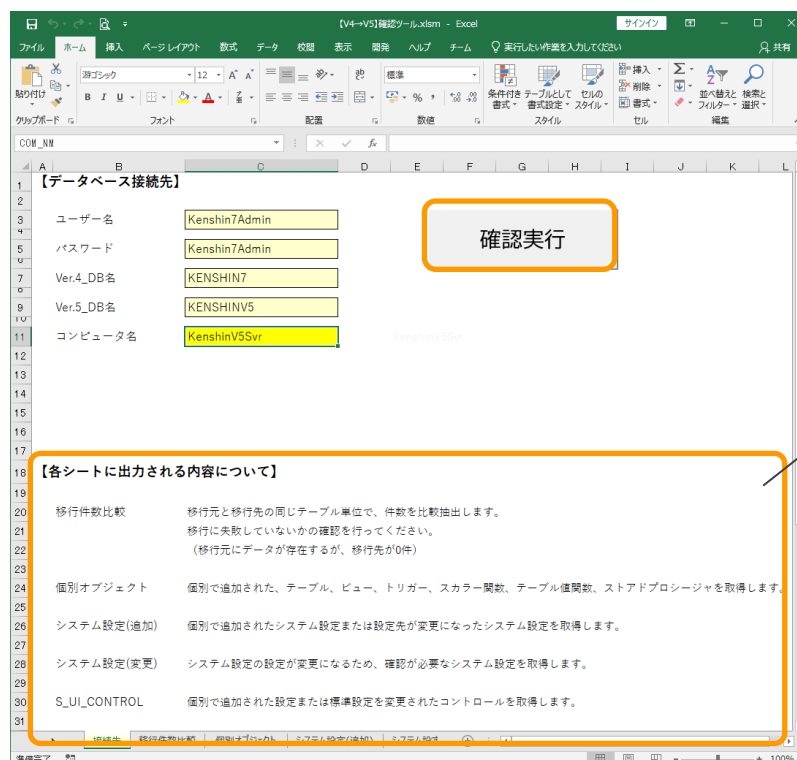
1. 以下のフォルダよりファイルを開きます。

「D:\タック総合健診システムV5\導入ツール\移行ツール\V4→V5\Tools\【V4→V5】確認ツール.xlsm」



2. データベース接続先を確認し、「確認実行」ボタンをクリックしてください。

各シートに確認結果が出力されます。



各シートに出力される内容
について記載があります。

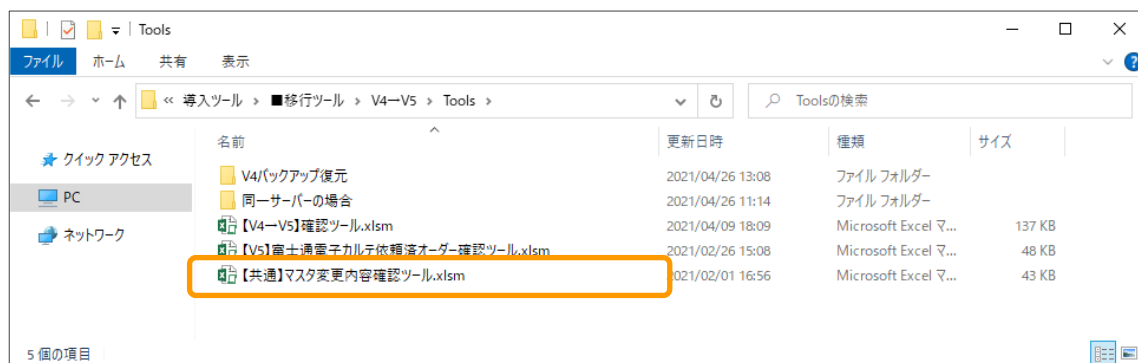
4.2 【共通】マスタ変更内容確認ツール

最終移行前に V4 のマスタを確認するツールです。

移行データ抽出日以降（翌日以降）に更新された内容を抽出します。

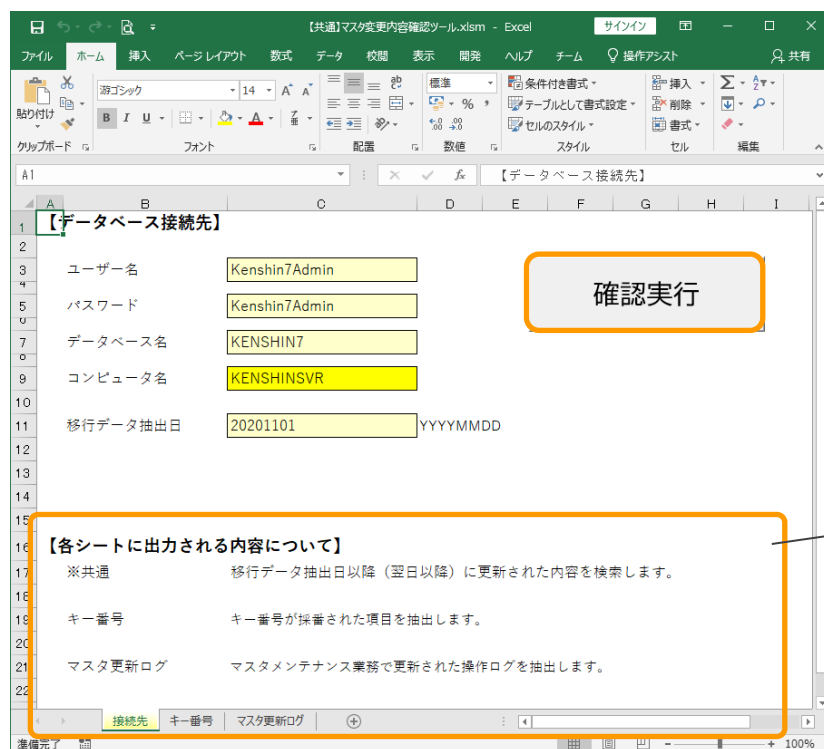
1. 以下のフォルダよりファイルを開きます。

「D:\タック総合健診システムV5\導入ツール\移行ツール\V4→V5\Tools\【共通】マスタ変更内容確認ツール.xlsm」



2. V4のデータベース接続先を設定し、「確認実行」ボタンをクリックしてください。

各シートに確認結果が出力されます。



各シートに出力される内容について記載があります。

4.3 DBチェックツール

初回移行後に使用するツールです。

ユーザー個別に作成したオブジェクトが移行されていない場合や、テーブル構造の変更に伴うデータセットのエラーを抽出します。

1. 以下のフォルダよりアプリケーションを実行します。

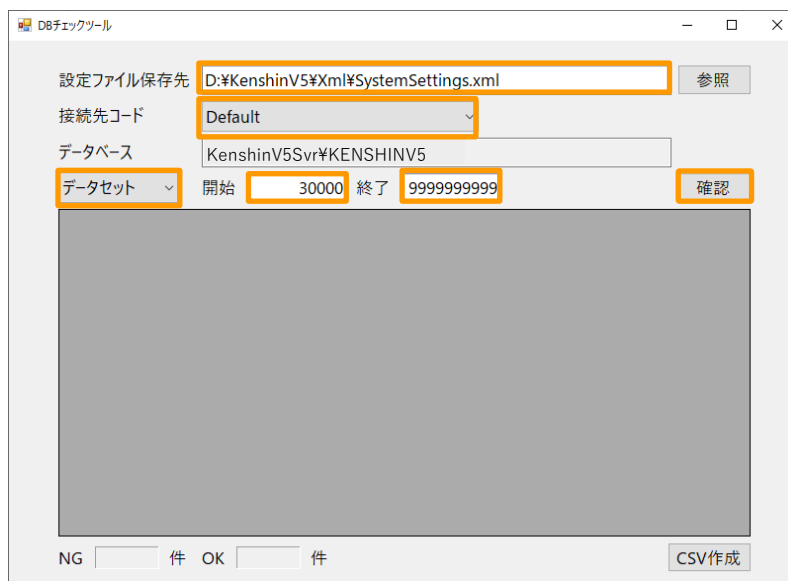
「D:\タック総合健診システムV5\導入ツール\■DBチェックツール\ErrDataSetCheckTool.exe」



2. DBチェックツールが表示されます。

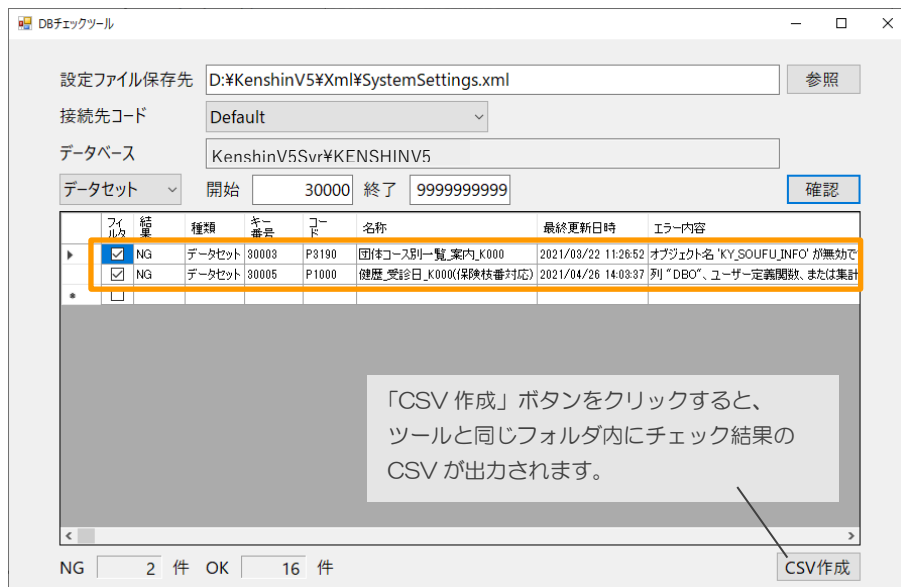
設定ファイル保存先、接続先コード、チェックするキー番号間を確認してください。

チェック対象を「データセット」に指定し、「確認」ボタンをクリックしてください。



チェック結果が表示されます。

エラーが表示された場合は、PKG標準のデータセットを参考に対象データセットの修正を行ってください。



- 参照していたビューがV5で削除されている場合があります。

「D:\タック総合健診システムV5\導入ツール\移行ツール\V4→V5\Tools\V4互換ビュー」フォルダにて、V4互換ビューの有無を確認し、必要に応じてV5データベースにご適用ください。ビュー名に「_V4」が付加されておりますので、データセット内のSQLは手動にてご変更ください。

※すべてのビューがV4互換として用意されているわけではありません。

4.4 データセットヒント句付加ツール

移行後に使用するツールです。

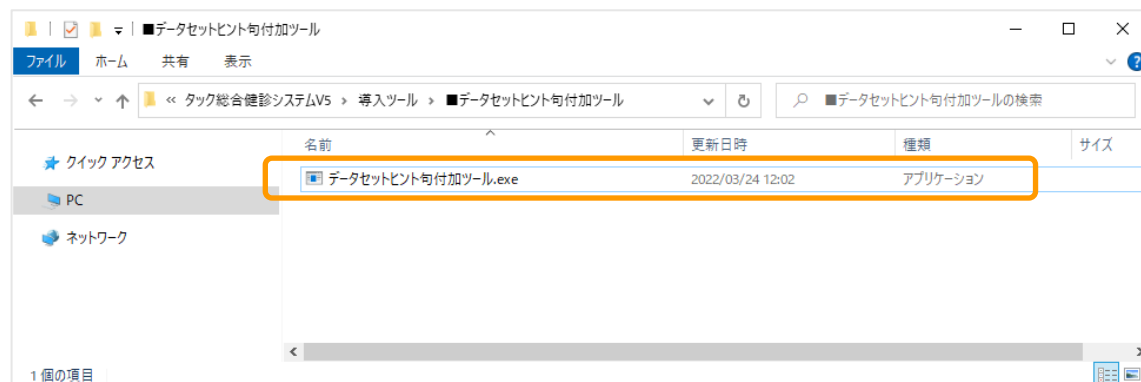
V5 では SQL Server のバージョンアップに伴い、実行プランの作成方法が変わる可能性があり、SQL のレスポンスが変化する場合があります。ユーザー個別のデータセットについては、一つずつレスポンスの検証を行う作業は現実的ではありません。このツールを使うことでV4の実行プランのままデータセットを実行することができます。(SQL の末尾にヒント句を付加します。)

※V4→V5 でSQL が変更されていない場合は、V4 相当のレスポンスが期待できます。

※テーブル構造の変化に伴いV4→V5 でSQL を変更している場合は、別途検証が必要です。

1. 下のフォルダよりアプリケーションを実行します。

「D:\タック総合健診システムV5\導入ツール\データセットヒント句付加ツール\データセットヒント句付加ツール.exe」



2. データセットヒント句付加ツールが表示されます。

設定ファイル保存先、接続先コード、絞り込み条件を確認し、「検索」をクリックしてください。

※個別データセットが多い場合は1～2分かかる場合があります。

データセットヒント句付加ツール

設定ファイル保存先: KenshinV5¥Xml¥SystemSettings.xml 参照

接続先コード: Default

データベース: localhost¥KENSHINV5

絞り込み条件: Select data_set_no 'No' ,data_set_cd 'コード',data_set_nm '名称' ,command_text 'SQL' from m_data_set where command_type='1' and pkg_kbn in('C','U') and show_flg='1' and data_set_no between 10001 and 9000000000

検索

表示 件 選択 件 更新

3. 検索結果が表示されます。

更新可能なデータセットが選択状態で表示されます。

※更新済みのものは「済」となり、チェックを付けることはできません。

データセットヒント句付加ツール

設定ファイル保存先: KenshinV5¥Xml¥SystemSettings.xml 参照

接続先コード: Default

データベース: localhost¥KENSHINV5

絞り込み条件: Select data_set_no 'No' ,data_set_cd 'コード',data_set_nm '名称' ,command_text 'SQL' from m_data_set where command_type='1' and pkg_kbn in('C','U') and show_flg='1' and data_set_no between 10001 and 9000000000

検索

選択	更新可	No	コード	名称	SQL
☐	済	10001	Z1000	健康_受診日_(<××向計)	/*1000健康_受診日*/--
☒	○	10002	Z1001	健康_受診日_(<○×向計)	/*1000健康_受診日*/--

表示 2 件 選択 1 件 更新

4. ヒント句を付加するものを選択して、更新ボタンを押すとデータセットの末尾にヒント句が付加されます。
 ※最終更新日、最終更新ユーザーは更新しませんが、ヒント句がツールにより付加されたことを判別するためメモに「ツールによりヒント句を追加しました。」という文言を付加します。

データセットヒント句付加ツール

設定ファイル保存先: KenshinV5¥Xml¥SystemSettings.xml 参照

接続先コード: Default

データベース: localhost¥KENSHINV5

検索

Select data_set_no 'No' ,data_set_cd 'コード',data_set_nm '名称'
 ,command_text 'SQL'
 from m_data_set
 where command_type='1' and pkg_kbn in('C','U')
 and show_flg='1'
 and data_set_no between 10001 and 9000000000

選択	新可	No	コード	名称	SQL
☐	済	10001	Z1000	健康_受診日_(<××向付)	/*1000健康_受診日*/--
☒	○	10002	Z1001	健康_受診日_(<○×向付)	/*1000健康_受診日*/--

表示 2 件 選択 1 件

更新

4.5 帳票マスタエラーチェックツール

初回移行後に使用するチェックツールです。

テーブル構造の変更や V5 版のデータセットを採用することによるエラーを抽出します。

- システム設定で設定していた帳票のガイドや列挙値は、V5でマスタ化しました。
 ユーザー個別のガイドや列挙パラメータの移行ができていないと、帳票マスタがエラーとなります。

1. メニュー画面で「帳票マスタエラーチェックツール」をクリックします。

タック総合健診システム L1.00 (2021/04/01) ユーザー: 健診 ユーザー

ファイル(F) 編集(E) ツール(T) メンテナンス(M) ヘルプ(H) ログイン日時: 14:10 帳票印刷 パスワード変更 ログオフ 終了

タック総合健診システム Medical Health Check-up System 本日の受診者は 0 人です。詳細

未受付 0人 受付済 0人 キャンセル 0人

すべて

2021年04月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

2021年04月07日(水)

タック総合病院 KENWS-2019-001 V50000

検索結果 1件該当しました。 帳票マスタエラー

帳票マスタエラーチェックツール

業務連絡 2021/03/18 新着情報 0 件 14:11

移行予定日 (2021-03-18)

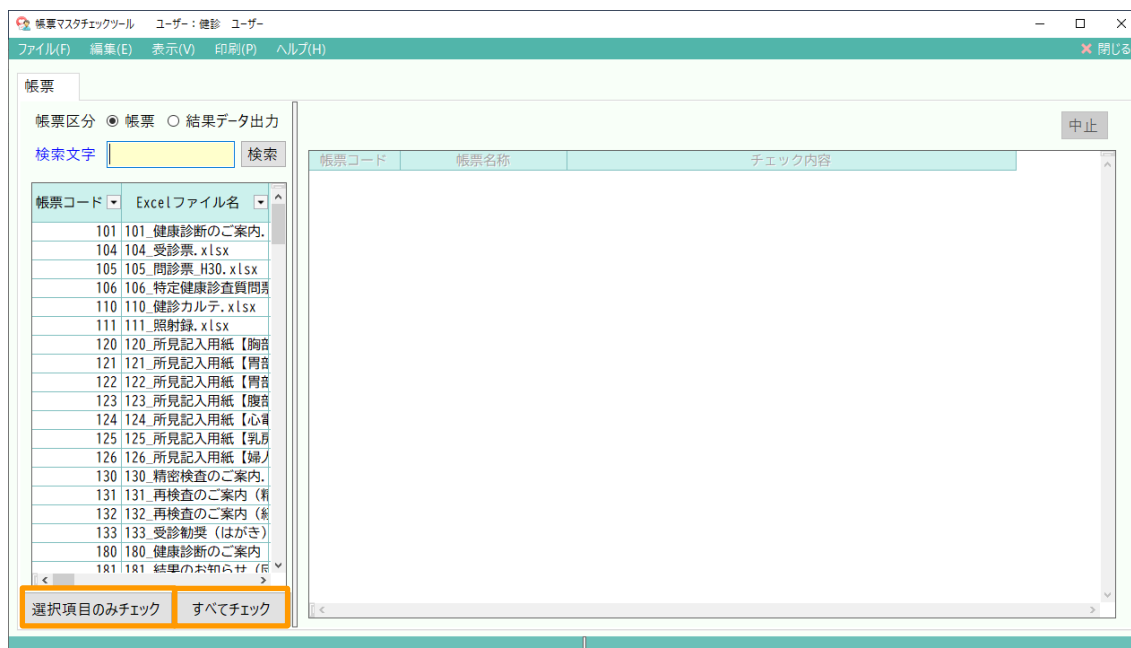
タイトル	更新ユーザー	更新日時
------	--------	------

F1 ヘルプ F4 ログオフ F5 最新表示

2. 帳票マスタエラーチェックツール画面が表示されます。

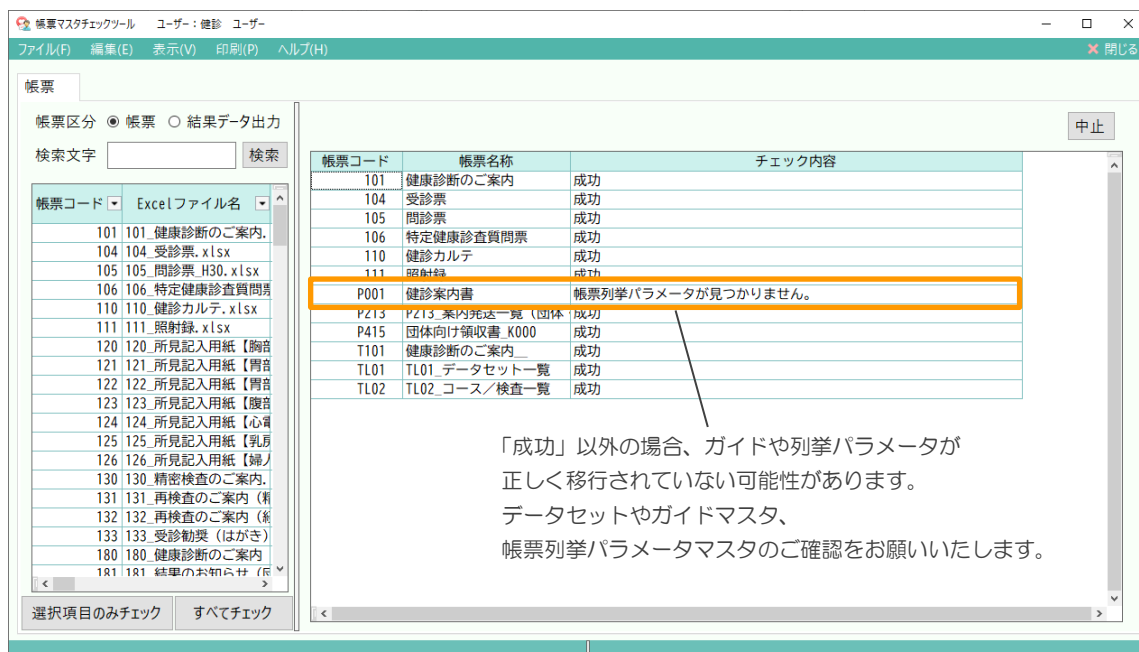
チェックしたい帳票マスタを選択し、「対象項目のみチェック」ボタンをクリック、
または全てチェックをする場合は、「すべてチェック」ボタンをクリックしてください。

※ 「すべてチェック」の場合は、結果データ出力もチェックされます。



3. チェック結果が表示されます。

チェック内容を確認し、修正を行ってください。

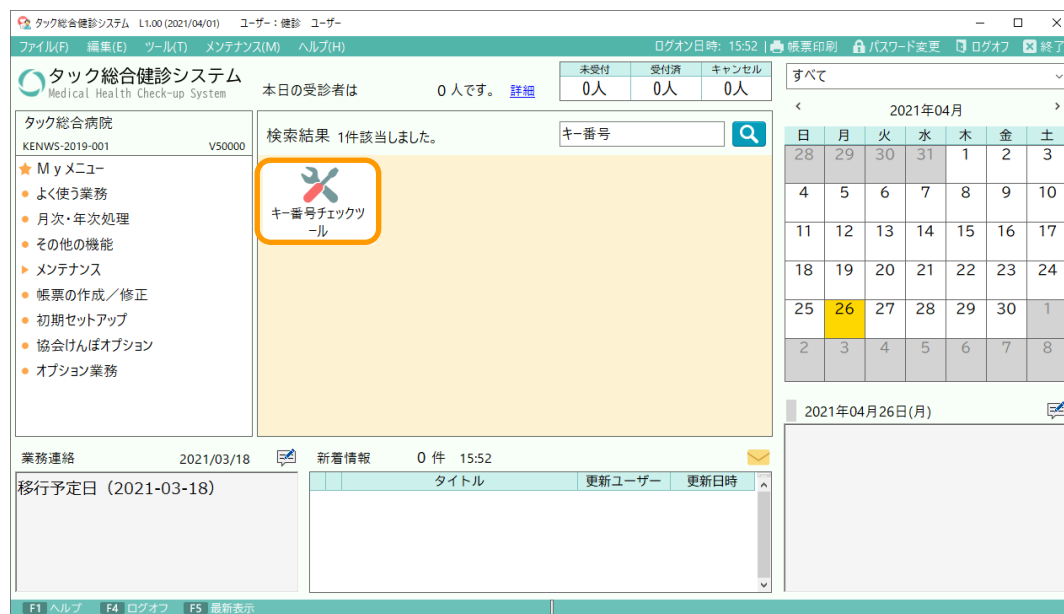


4.6 キー番号チェックツール

移行後にキー番号のかさ上げ値に問題がないかチェックツールで確認を行います。

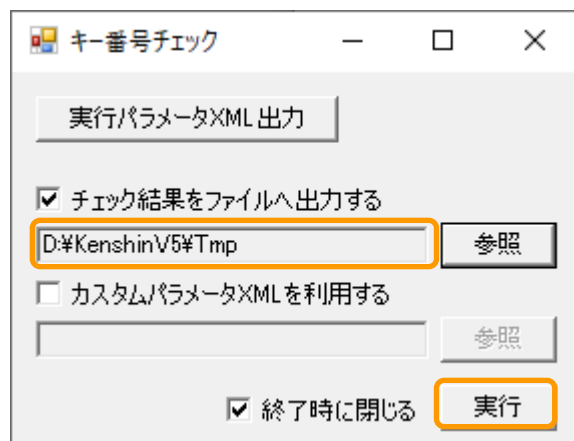
※ 単独起動での確認方法です。

1. メニュー画面で「キー番号チェックツール」をクリックします。



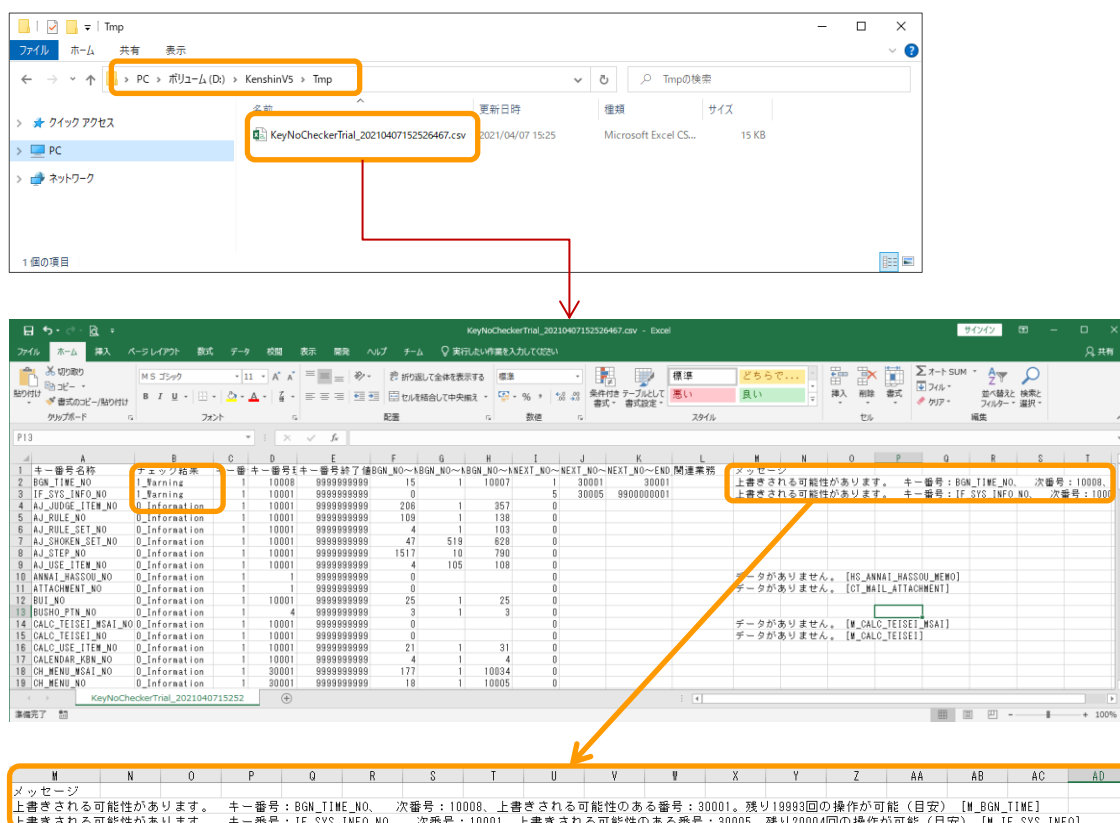
2. キー番号チェックが起動します。

チェック結果出力フォルダを確認し、「実行」ボタンをクリックしてください。



3. 指定したフォルダにCSVが出力されます。

現在のキー番号の状態とチェック結果の内容をご確認ください。



チェック結果列「1_Warning」のものが上位に表示されます。
メッセージ列に内容が記載されていますので、
かさ上げの見直しが必要か、ご確認をお願いいたします。

参考資料:全移行されないテーブル

一括受診者取込データ	JS_IMPORT
	JS_IMPORT_DAN
予約オーダー	YY_ORDER
	YY_ORDER_LOG
	YY_ORDER_MSAI
	YY_ORDER_MSAI_INFO
コミュニケーションツール	CT_MAIL
	CT_MAIL_ATTACHMENT
	CT_MAIL_TO
システム設定	S_SYS_SETTING
スプレッド設定	S_SPREAD
UI_コントロールやメッセージ等のシステム設定関連	S_MESSAGE_BAR
	S_MESSAGE_BOX
	S_MESSAGE_LOG
	S_MST_LST
	S_SHORTCUT
	S_UI_CONTROL
	S_DELCHECK
	S_HELP
更新履歴保存用テーブル	Z_ITEM
	Z_KNS ...etc
業務マスタ	M_GM
	M_GM_KENGEM
	M_GM_BRUI
	M_GM_FUNC

アプリケーションマスタ	M_MENU_ITEM
帳票マスタ	M_CH
	M_CH_SET_MSAI
データセットマスタ	M_DATA_SET
	M_DATA_SET_ITEM
	M_DATA_SET_PRM
	M_COLUMN_NM
画面マスタ	M_DSP
	M_DSP_MSAI
OCR	OCR_DATA
	OCR_RECENT_DATA

変更履歴

日付	版数	変更内容	頁
2021/04/01	第1版	新規作成	
2021/06/30	第2版	コミュニケーションツールの移行について修正	3
		移行ツールにキー番号のかさ上げを追加	1,4,12,13
		「2.4 V5キー番号のかさ上げ」削除	14
		初回移行時の標準マスタセットアップ後のオプション有効化確認追加	1,5,9
		結果データ出力の出力先の見直しについて追加	20
		レイアウト修正	2,5
2021/11/30	第3版	判定支援ルールマスタの確認手順を追加	20
2022/05/31	第4版	巡回版から移行した際の注意事項を追加	21
2022/03/25	第5版	データセットヒント句付加ツールを追加	29-31
2022/10/18	第6版	V4互換ビュー定義についての説明を追加	29
2023/01/10	第7版	予約(所属団体)の移行条件を追加	4
2023/02/07	第8版	初回移行のポイントを修正。	1
		移行イメージ図の文言を一部修正。移行データの補足を追加。	2
		マスタ差分移行についてQAを追加。	3
		【共通】マスタ変更内容確認ツールの使用時の補足を一部追加。	6,23



タック総合健診システム Version 5

V4→V5データ移行手引書

2023年02月07日 第8版

タック株式会社

〒503-0803

岐阜県大垣市小野4丁目35番地12

TEL 0584-75-6501（代）

FAX 0584-75-6502

<http://www.taknet.co.jp/>
